

**2020年9月18日**

**シリル・ラマポーザ大統領、  
感染警戒レベルを1に引き下げ、国境の再開放を発表（要旨）**

- 南アフリカのシリル・ラマポーザ大統領は9月16日、国民向けの演説の中で新型コロナウイルスの新たな感染者の数が大きく減少し、医療機関への負荷も軽減されているとして、9月21日から南アフリカ全土における警戒レベルをこれまでの2から1へ引き下げ、経済活動に関する制限緩和をさらに進め、事実上封鎖されていた国境を10月1日より段階的に開くと発表。
- 感染リスクの高い国との往来は引き続き禁止される。最新の科学的データに基づいて特定されるこれらの国のリストは近く公表される。
- 再開放となるのはロックダウン期間中も開かれていた陸路の国境検問所1カ所とダーバンのキングシャカ国際空港、ヨハネスブルグのO.R.タンボ国際空港、ケープタウン国際空港。
- 到着に際して旅行者には出発前72時間以内に発行された新型コロナウイルス陰性証明書（非感染証明書）の提示が求められる。
- 出発前の検査を怠った旅行者は強制的に隔離され、その際の費用は自己負担となる。
- 入国時には全員にスクリーニング検査が施され、感染の症状が見られる旅行者には再検査の結果が出るまで隔離措置が取られる。
- スマートフォンを携帯する全ての旅行者に新型コロナウイルス接触確認アプリ「COVID Alert SA」のインストールが求められる。
- また警戒レベル1への引き下げに伴い、
  - 外出禁止措置は午前0時から午前4時まで緩和。
  - 自宅消費用の酒類の店頭販売は月～金曜の午前9時から午後5時まで緩和。
  - 酒類販売免許を取得している店舗では外出禁止ルールの厳守を条件に店内での販売を許可。
  - 現在、入場者50人までに制限されているスポーツジムや劇場といった運動・娯楽・エンターテインメント施設では感染予防対策とソーシャルディスタンス確保の徹底を条件に収容人数の50%まで上限を緩和。
- 大規模スポーツイベントへの観客の入場は引き続き禁止。
- なお、国家非常事態宣言については10月15日まで延長される。